

# 北野30年に想う



菅原 安信(初代町内会長)

1964年12月朝日ヶ丘 入植

1993年10月バンクーバー 移転

## わが生涯の棲家

函館、帯広、木の花、円山、北野、バンクーバー、これらの場所は、どれもわが生涯の想い出の棲家たちであった。

私は「人生は旅である」ということばが好きだ。旅に出掛ける前のあの鮮烈な興奮、そして実現迫る無限の期待感‥私は生き返る。振り返ってみると、ただ、その追求で力ナダまできてしまった。

静かに考えてみると、そのひとつの中間点、旅先が《北野》の30年であった気がする。あの地に、入植第1号として木を植え、明かりを灯し、水を汲み上げた生活は忘れられない。朝日ヶ丘30周年という話を聞いて驚いた。まずは、発展を続ける我が「朝日ヶ丘」に心から祝杯を捧げたい。北野についての私の歴史

は、更に1964年にまでさかのぼる。紀元前の話をしよう。

## 古老から聞いた、とっておきの話

### 《北野は風の通り道》

地図を広げて戴きたい。今のカスベ形の北海道の地形が出来る何万年も以前、石狩と胆振を結ぶ低地帯は海底だった。だから二つの島だったのだ。その後、恵庭岳と樽前山の活発な時代があって、何度も噴火を繰り返し、北野に丘陵地帯をつくったという。そこで、石狩平野から、勇払原野にかけての《風の通り道》ができた。

まだ国鉄千歳線が走っていたころ、厚別川、清田通りの間は畠とよし原で、朝日ヶ丘から列車がみえた。夏の夕方など、時に強い涼風

がヒューヒュー音をたてて、帯のように走り、遙か勇払原野を過ぎて太平洋に出てゆく。そんな見えない風の動きを古の話をオーバーラップさせて想像し、今の清田通り(畠の畦)で味わったものである。

### 私のスケッチブックから

朝日ヶ丘から望む太陽は、名前にふさわしく素晴らしい。山林が自然公園となったが野生の動物で消えたものも多かった。自称キノコ沢。秋には斜面一面にシメジが絨毯のようにでた。採りきれなかった。

春にはキジのファーミリーが、生まれた子供7~8羽を引き連れて私の庭に現れた。それは童話の世界である。

カッコーは今年も来るだろうか? 5月25日は毎年カッコーの到着日である。窓に一番近くのシラカバの枝で、急に鳴きだし到着の挨拶をした。私は毎年、録音に忙しかった。一日も遅れることのないのが驚異だった。シラカバは渡り鳥のステージとなった。

それはそれは幻想的だったのが《ホタルの群舞》である。1964年から4~5年も続いたろうか。場所は、今の吉田川の水のみ場あたり、流れが緩やかな用水路の暗闇に光の交響曲を描いた。それも公園という都会施設と交換した形で消えてしまった。

### 21世紀への提言 ～皆で考え、変えたいこと

先日帰国して通った吉田川は川の佇まいを

一変させていた。川の前のほとんどの住人が、川縁の公有地を私的に使用して野菜、植木、花を作っているのだ。驚いた。戦争中の大通り公園でジャガイモを作っていたのを思い出した。たしかに狭い日本では猫の額ほどでも土地がほしい。しかし、川の堤は大切な役割がある。出水時、それが崩れたら大変な事故につながるという事を知らない筈がないだろう。行政はこんなことを許しているのだろうか。市民意識のレベルが悲しかった。こんな事例が多くすぎる。

土地なし日本の戦後がまだ終わっていない、可哀相な怖い残像である。

最後に、未来は、そこに住む人のもの。貴方も、いまから北野の創造を始めよう。単なる《ネグラ》にしないで《新鮮な参加》をして欲しい。退屈も、歓喜も、憂鬱も、すべて創造に変えよう。北野の丘に太陽が輝き、他人に干渉しない自由な人が住める緑の森になることを祈る。

北野人に健康を!



昭和57年8月15日、寿会の仮装行列  
町内を行進 このあと当時の丸友ストアー前で行われていた盆踊り仮装大会で寿会仮装参加者が賞を独占

# 朝日ヶ丘町内会30周年に想う



斎藤 勝雄

## 町内会誌発行は時宣を得た企画

私が初めてこの地に足を踏み入れた頃、ここは疎林と田園に囲まれた、単にだだっ広い火山灰台地であり、給水塔が一基、確か家が一軒、ポツンと建っていたように思う。

しばらくして、私がここに住まわせていただくようになった時には、全ての疎林の中を立派な道路が走り、田園は公園に姿を変え、瀟洒（しょうしゃ）な住宅が建ち並び、朝日ヶ丘町内会という立派な組織も活動していた。

お聞きするところによれば、僅か13戸で発足したその朝日ヶ丘町内会が、今年で満30年を迎える、これを機会に、これまでの歩みをまとめた記念誌を発刊するという。

個人には個人の生育史があり、家には家の歴史があると同じく、町内会にも町内会の歴

史がある。

しかし、それらの殆どは記録のないままに風化されてゆく運命をたどるものだが、その意味で、ここでの記念誌の刊行は、我が町内会が組織されて行くプロセスを明らかにすると同時に、組織にかかわられた有名、無名の方々、中にはすでに故人となられた方々の顕彰碑にもなり得ると思えば、まことに時宜を得た、適切な企画であると思う。

## 町内会員としての4つの誇り

手つかずの自然、恵まれた体育施設、町内会館、「隣人知りあう」スローガン

私が朝日ヶ丘町内会の住民として、特に素晴らしいと感じている点が四つある。

その一つは、身近に自然があるということで

ある。

吉田川を挟んで隣接する吉田川公園は、自然林をそのままに生かした公園である。

自然をそのままに残すという発想が、住民側から出たものか、市側から出たものが定かではないが、とにかく「うるしに注意」などの標識が示すように、手つかずの自然が隣にあるということは、この地に住む住民としてはまことに恵まれた環境にあると言えよう。

吉田川そのものは、近年、河川公園として人の手が加えられカルガモの子育ての場としての機能を消失はしたが、その代わり、これまで川に入れなかつた子供達が、幼少を問わず、安全に水棲動物と触れ合える場に変容した。

水を入れた小さな瓶に、オタマジャクシや小魚を入れ、誇らしげに我が家へ向かう幼い子供達の笑顔が、その小さな影が、永久に絶えない町でありたいと願う。

その二つ目は、体育施設に恵まれているということである。

早朝のジョギングは、どの町にでも見られる光景であるが、吉田川公園内には野球場あり、テニスコートあり、パークゴルフ場あり、加えてサンダルばきで行ける所に豊平区体育館あり、ゴルフクラブすらある。

全戸数僅か2百数十戸という小さな町内会で、近くにこれほどスポーツ施設に恵まれているところは、他にあまり例がないのではないかだろうか。

第三は、自分達の町内会館を持っているということである。

現在、老人クラブをはじめ、町内会並びに

町内会員の諸活動の拠点として重要な役割を果たしている朝日ヶ丘町内会館の設立に至る経過はこの誌上で明らかにされると思うが、いち早く土地を確保しておかれた第9代小堀会長、また会館の建設に踏み切られた現町内会長の小関氏、並びに当時の役員の方々の見通しの確かさを讃えたい。

勿論、殆どの住民が賛意を表しての踏切ということでは、一般町内会員のまとまりや識見の高さを評価するものではあるが、小さな町内会であるが故に、各戸負担の軽減を願って、寄付金集め、建設資金の借入れ等々、表には出ない数々のご苦労の結果の完成であることを思うとき、事業推進の振動役となられた役員の方々のご努力には、ただただ頭が下がる思いがするのである。

更に、私が最も素晴らしいと感じているのは、四番目の「隣人を知り合おう」という、現小関町内会長が掲げたスローガンと、その実践である。

これは町内の独居老人の孤独死による危機感からの発想のようであるが、私は正に、福祉の出発点はここにあると思うのである。

極言かも知れないが、私は最近の日本には「祭り」があって「政事（まつりごと）」無し大と思っている。つまり、「町おこし」や「一村一品」など、経済優先の発想に踊らされている昨今の風潮が、いかにも見苦しく思えてならないのである。

福祉の対象は、あくまでも人間である。「心」を持った人間である。介護保険制度等の導入を必ずしも否定するものではないが、近代医学が患者を見すと評されているように、福祉

もまたその弊に陥らないように心すべきではないだろうか。

札幌市その他町内に住んだことのない私には大きなことは言えないが、私は、朝日ヶ丘町内の人々の日常生活の密度は、他町内に比べて非常に濃いように思えるのである。

これは、小関町内会長が掲げたスローガンの浸透のあかしであり、また、住民が行政に依存することなく、自分達で真の福祉の町づくりに踏み出した確かな第一歩として、高く評価をするものである。

阪神大震災の例を引き合いに出すまでもなく、倒壊した家屋の下敷きになった多数の人々に迫り来る火の手から救ったのは近隣の人達であることを忘れてはならないと共に、

ここ30年の間に、この町内に集った私達の一人一人がそれぞれの「ふるさと」を持っているように、ここで生まれ育つ子供達にとって朝日ヶ丘がふるさとになる。

やがて成人し、ここを離れていくであろう彼等が、自分の故郷の暖かさを懐かしみ、ここで生まれ育ったことを誇りに思えるような、人間愛に満ちた町づくりを、これからも手をとり合って進めて行きたいものである。

最後に、税理士事務所経営という現職、且つご多忙の身でありながら、長年にわたり町内会運営にリーダーシップを発揮しておられる現会長小関益美氏、並びにそれを支えるスタッフの方々に深甚な謝意を表し擱筆する。



昭和57年12月25日 子供クリスマス会

## 朝日ヶ丘町内会の変遷

	町内会員数	町内会決算額	町内会においての記録等
昭和39年 ↓ 昭和40年			朝日ヶ丘団地に住民第1号「菅原安信氏」移り住む。 時は、昭和39年12月29日 土地会社と約束した電灯も水も間に合わずの暮らし始まった。
昭和43年度	13名		12・13戸により、朝日ヶ丘町内会を結成。 初代会長に菅原安信氏、副会長工藤三郎氏、会計佐々木武郎氏。 懸案事項：簡易水道水の確保、36号線への道路整備、除雪対策。
昭和44年度 から 昭和47年度			
昭和48年度		(収入の部) 町内会費 198,938円 除雪費 351,000円 水道費 560,400円	当時の懸案事項：市水道への移管、道路整備、除雪対策。 当時の町内は簡易水道施設（ポンプ場・給水塔・他）の維持管理が大変。 当時の会費等→町内会費は月／50円、10月から月／200円、除雪費は毎月／350円、水道料は毎月／600円。
昭和49年度	81名	町内会費：月／200円	49年11月1日現在の会員名簿によると会員数81名。 11月：町内の簡易水道が、札幌市の水道に切り替わる。
昭和50年度	83名	一般会計 422,648円 特別会計（除雪費） 720,000円 町内会費：月／300円	4月：北野小学校の開校 36号線への坂道に砂利を投入。 6月：主要道路に簡易舗装が行われる。（砂利投入ほか、大内市議の協力による） 7月：36号線への坂道に痴漢対策のため、防犯パトロール実施。 8月：子供益おどり開催。 10月：集会所として市バスの払い下げを受け高圧線下に置く。 当時の除雪費720,000円→冬季5ヶ月間を徴収、月／1,500円を会則で表現していた。
昭和51年度	110名	一般 541,312円 除 雪 696,000円	8月：子供益おどり・花火大会を開催、防犯パトロール実施。 12月：除雪の障害電柱を移設（6ヶ所）→区役所・電話局と交渉した。 3月：北野中学校開校記念祝賀会に参加
昭和52年度	112名	一般 742,688円 除 雪 870,000円	8月：子供益おどり・花火大会を開催、防犯パトロール実施。 11月：集会所予定の市バスをスクラップ処分売却。 灯油の共同購入、子供クリスマス会・新春囲碁大会の開催。
昭和53年度	136名	一般 1,062,051円 特別会計（除雪費） 460,500円 (市除雪対象範囲を拡大)	4月：町内道路、36号線への坂道に砂利散布（10台分）。 6月：春の清掃作業、手づくり交通標識の設置、防犯訓練実施。 7月：36号線への坂道を防犯パトロール実施（2ヶ月間）。 8月：子供益おどり・花火大会・子供のど自慢大会。 〃 第1回親善ソフトボール大会・ジンギスカン親睦会。 11月：市下水道の使用開始→各戸の水洗化工事を共同発注。 12月：中の島ヘルスセンターに老人慰安実施→2月、老人クラブ結成40名。 2月：町内「歩くスキー」を野幌公園にて開催。
昭和54年度	146名	一般 1,006,905円 特別会計（除雪費） 557,000円	5月：春の清掃・火災予防教室、36号線への坂道に砂利散布・通行制限標識も設置。 〃 班編成の変更→6班を二つに分け、6・7班とした。 〃 町内仮会館を建設（大内市議の協力）→道央信金より170万円借用、月／400円負担。

## 変遷

	町内会員数	町内会決算額	町内会においての記録等
昭和54年度		特別会計（仮会館費） 2,046,448円 (借入金十会員から会費)	6月：仮会館の内装・外回りを会員総出による労働奉仕行う。 7月：仮会館完成に伴い使用説明会を開催→町内全体を2回に分けて。 “ 町内ソフトボール大会・懇親会、北野地区女子ソフトボール大会に朝日ヶ丘町内婦人部が参加（16対10） 8月：子供盆おどり・花火大会。 子供クリスマス会（70余名参加）、新年交礼会実施、役員選考委員会を設置。
昭和55年度	163名	一般会計 1,064,514円 特別会計（除雪費） 598,500円 特別会計（仮会館費） 816,429円	6月：新会館建設促進委員会の設置、2班の坂道が舗装される。 8月：子供盆おどり・花火大会、子供のど自慢大会。 36号線への坂道を防犯パトロール実施、子供会が町内道路清掃を行う・ 参加者60名。 9月：町内ソフトボール大会→終了後に親睦会。 “ 清田地区少女ソフトボール大会に町内少女チーム参加。 12月：北野通り開通、子供クリスマス会に90名参加。 新年交礼会実施、歩くスキーワーク公園で行う、役員選考委員会を設置。
昭和56年度	175名	一般会計 1,204,419円 特別会計（除雪費） 679,000円 特別会計（仮会館費） 1,046,030円	6月：町内に交通標識を6ヶ所設置。 春・秋の町内ソフトボール大会→親睦会・春秋共に70名位参加。 7月：清田地区女子ソフトボール大会に参加（婦人チーム） 36号線への坂道 を防犯パトロール実施。 8月：七夕祭り・67名参加、子供会による町内清掃・55名参加、子供盆踊り・ 花火大会・子供のど自慢大会。 9月：清田地区少女ソフトボール大会に参加、少年少女サイクリング大会を開 催・25名参加、臨時総会：会館用地買うことにして決定。 10月：会館建設用地を三井不動産より取得 442.55m <sup>2</sup> 133.87坪 道央信金北野支店より360万円を融資受ける→所有権の移転登記を行う。 11月：子供会レコードコンサートと映画会を開催・45名参加。 子供クリスマス会・84名参加、親子スキーレク大会・80名参加、役員選 考委員会を設置。
昭和57年度	185名	一般会計 1,331,245円 特別会計（除雪費） 430,491円 特別会計（仮会館費） 1,052,882円	5月：近隣4町内会による吉田川合同清掃の実施、ゴミステーションの改修。 婦人部・毎月・婦人の集いを設ける→生花・着付け・料理教室を開催。 “ 夕べのジョギング吉田川公園に連日50名参加、福祉厚生部でバザール行う。 8月：七夕祭り、花火大会、盆おどり、婦人部カラオケ大会。 “ 寿会が町内会を仮装行列→北野仮装盆おどりで賞を独占。 “ 朝日ヶ丘町内会だよりで「新北野物語」を連載・8回連続。 9月：班別対抗ソフトボール大会、北野地区ママさん大会参加。 “ 7班から北野通りまで舗装工事・町内全面的に舗装完成。 10月：区土木事業所に除雪・カーブミラー等の設置要請交渉。 11月：北野地区町内会連合会館の落成→北野会館運営委員会を発足。 3月：北野連町設立総会を開催（3月26日）於：北野連合会館。
昭和58年度	194名	一般会計 1,573,938円 (北野会館建設負担金含む) 特別会計（除雪費） 473,766円 特別会計（仮会館費） 974,486円 特別会計（新会館建設） 600,000円	4月：北野連絡所開所、町内7班を8班に編成替え行う。 5月：清田地区開基100年記念事業・清田地区郷土館を開設。 “ 春の町内清掃、4町内合同吉田川清掃実施。 7月：町内ソフトボール大会・懇親会、夏休みラジオ体操実施。 8月：児童会夏休み町内清掃、厚別川に稚魚を放流。 “ 七夕祭り・花火大会・町内盆おどり（大人も参加） 10月：北野連町少女ソフトボール大会に出場・まきば町内と対戦：惜しくも負。 婦人部社会見学会（岩見沢こぶし焼き・桂沢湖）バザール開催。 11月：吉田川公園（運動施設等）及び豊平区体育館が完成。 12月：町内除雪を丸栄東洋興業有限会社と契約。 婦人部趣味講座を開催（菓子作り・軍手人形等作り）。 2月：親子雪中運動会を吉田川公園で行う・終了後、仮会館でブタ汁を…。

	町内会員数	町内会決算額	町内会においての記録等
昭和59年度	197名	一般会計 1,100,934 円 特別会計（除雪費） 337,852 円 特別会計（仮会館費） 908,903 円 特別会計（新会館建設） 618,525 円 特別会計：北野会館建設負担金 241,631 円	4月：今年度から会長選考をブロック制の実施：町内を4ブロックに編成。 5月：春の町内清掃、4町内合同吉田川清掃実施。 〃 婦人部社会見学会（厚別清掃工場・知事公館・旭ヶ丘公園で花見他） 6月：交通安全教室とサイクリング（食品工場の見学・平岡園芸センター見学他） 7月：婦人部バザー開催、児童会夏休みラジオ体操実施。 8月：児童会七夕祭り町内巡訪と花火大会。 町内盆おどり大会・終了後に納涼ビール会。 11月：町内第1回文化祭を行う。（書道・手芸・油絵・焼き物） 〃 町内主要道路に歩道が取り付けられる。 〃 電源開発・総務課長が来町、仮会館の使用目的違反と早期移転の申し出あり。 12月：子供クリスマス会とプレゼント交換及び豚汁会。 1月：町内新年交礼会と新春麻雀大会、子供雪中運動会と豚汁会・40名参加。
昭和60年度	207名	一般会計 1,219,568 円 特別会計（除雪費） 409,319 円 特別会計（仮会館費） 975,495 円 特別会計（新会館建設） 646,292 円 特別会計：北野会館建設負担金 242,215 円	5月：電源開発に新会館建設準備の状況説明行う。 7月：北野町連女子ソフトボール大会に出場→準決勝まで進出。 〃 会員の浄財により少女ソフトボールチームにユニフォームを調達。 8月：児童会の七夕まつり・盆おどりを開催。 9月：電源開発所長来訪・会館使用について会談。 〃 北野町連少女ソフトボール大会に新ユニフォームで出場。 〃 秋の清掃、消防署による防火訓練、友愛バザーを実施。 10月：第1回町内大運動会を開催→終了後に懇親会、参加人員90人。 11月：豊平署に、主要道路に速度制限標識の設置要望書を提出。 〃 除雪請負契約を（株）東陽工業と締結→年／250,000円 12月：子供クリスマス会を仮会館で開催→寿会が協力。 1月：新年交礼会・娯楽大会を開催。
昭和61年度	210名	一般会計 1,288,439 円 特別会計（除雪費） 376,634 円 特別会計（仮会館費） 1,083,913円 特別会計（新会館建設） 664,143 円 特別会計：北野会館建設負担金 273,437 円	4月：春の交通安全市民総ぐるみ運動に婦人部参加。 5月：春の町内清掃および吉田川清掃。 8月：児童会の七夕まつり・花火大会・盆おどりを行う。 9月：北野町連少女ソフトボール大会に出場。 10月：第2回町内大運動会を開催→終了後に懇親会、参加人員80人。 11月：仮会館で子供たちのお泊まり会を行う。参加38人。 12月：子供クリスマス会を仮会館で開催→寿会が協力。 1月：新年交礼会・娯楽大会を開催。 2月：雪中運動会を吉田川で行う。仮会館の土地所有者より退去要請受ける。 〃 役員選考委員会を設置→今度は会長を7・8班より。 3月：会館建設委員会を開催（土地の借用2年契約が大幅に延長していることから仮会館撤去）
昭和62年度	213名	一般会計 1,420,038 円 特別会計（除雪費） 0 円 特別会計（仮会館費） 0円 特別会計（新会館建設） 0円 (特別会計を統一化する) 特別会計（会館会計） 2,432,214 円	4月：市役所・区役所にて町内会館建設補助金の説明を受ける。 5月：豊平区役所土木部長と面談・吉田川歩道橋の架設を懇談。 〃 道央信用金庫より新会館建設資金融資について快諾得る。 〃 相談役・建設委員会との懇談会にて新会館建設を協議。 〃 臨時総会を開催 *新会館建設について可決（第1案を採択） *仮会館取り壊しについて承認 *仮会館地主さんに記念品の贈呈 6月：市役所が新会館建設地を視察・吉田川歩道橋と道路検討。 〃 高圧電力事故発生（仮会館撤去中の業者による事故） 被害者87件・大変な被害額となる。 7月：婦人部社会見学会の実施（中央御売市場・旭山記念公園・雪印工場） 10月：第3回町内大運動会を開催とジンギスカンパーティ実施。 3月：市建築指導部が新会館建設に向けて全面的な協力を約束。 4月早々に市で現地調査後→早急に工事着手を決定。

## 変遷

	町内会員数	町内会決算額	町内会においての記録等
昭和63年度	214名	一般会計 1,371,890円 特別会計（会館会計） 26,373,712円 会館会計・収入の部 会館建設資金 170万円 道信金借入金 1,350万円 札幌市補助 609万円 競馬会助成金 150万円 その他 115万円 前年度繰越金 243万円	4月：市建築指導部が会館建設予定地を視察・設計要領等の指導を受ける。 “会館運営特別委員会を発足（目的：建設に伴う相談役・落成祝賀会の準備等） 5月：（株）三宝工業と会館建設の工事契約を締結→2,380万円。 “吉田川清掃と春の町内清掃を実施 “厚別川にヤマベの稚魚放流参加。 7月：婦人部の社会見学（サケの科学館・芸術の森） “第4回会館運営特別委員会を開催（落成祝賀会を8月28日開催に決定） “落成後の会館運営を目的とした会館運営委員会を設置。 8月：会館新築落成により会館運営特別委員会を解散。 “朝日ヶ丘町内会館新築落成祝賀会を開催 8月28日（日） 総出席者数150人余、招待者は区市民部長・長岡市議・建設関係者等17名。 札幌市長より感謝状（地域福祉に貢献）の贈呈を受く。 9月：会館運営委員会にて会館運営規約・防火管理規程を制定。 10月：第4回町内大運動会を開催。 12月：北野ふれあい橋完成。 新会館で子供クリスマス会・新年交礼会・娯楽大会を開催。
平成元年度	222名	一般会計 1,121,878円 特別会計（会館会計） 1,959,910円	4月：輪番制による会長選考（1・2班）が不調→三役不在となる。 5月：「町内会の組織・運営を考える会」の特別委員会を設置。 “当面・前会長の小関益美氏が会長代行を務める。 “吉田川清掃と春の町内清掃を実施。 8月：子供盆おどりを開催、終了後に軽懇談会を開催。 “第2回「町内会の組織・運営を考える会」の委員会開催。 10月：第5回町内大運動会を開催。 11月：寿会（老人クラブ）による町内清掃の実施・35名参加。 12月：臨時総会を開催→役員の選考方法を再検討、会長の毎年交代は問題多い。 “子供クリスマス会実施・寿会からおしるこ餅の提供受く。 1月：新年交礼会・娯楽大会を実施。 “婦人部・新年会を開催。 “役員選考委員会を設置→来年度役員の選考を協議。
平成2年度	225名	一般会計 1,257,041円 特別会計（会館会計） 2,151,981円	4月：町内機関紙「町内会だより」を「吉田川」に変更。 “副会長を3人制・部の統合を図る→総務部～婦人部まで8部。 “北野児童会館の落成祝賀会行われる。 5月：朝日ヶ丘町内会案内板の更新・会館表示看板等を発注。 “吉田川清掃と春の町内清掃を実施・100人以上が参加。 7月：婦人部市民見学会（サッポロビール・地崎バラ園他）に参加者が定員超過。 “子供盆おどりをやめて子供夏まつりを実施。 “北野ゴルフクラブの好意で料金割引制度を町内で扱う。 9月：寿会の農園に子供たちがイモ掘りに参加・試食会。 10月：第6回町内大運動会を開催（北野小学校）→参加100余名。 12月：子供クリスマス会→参加30余名、6・8班で班会合。 1月：新年交礼会・娯楽大会を開催、婦人部新年会47名参加。
平成3年度	221名 会員数の減は、アパートの居住者方が退会したことによる。	一般会計 1,238,021円 特別会計（会館会計） 2,464,119円	5月：吉田川清掃と春の町内清掃を実施。 8月：夏まつり（大人を含めた）を実施・来場者数130名。 “ビヤガーデン・やきとり・映画会・ポップコーンなど。 10月：第7回町内大運動会を開催（北野小学校）→参加130名。 “終了後にジンギスカン懇親会・参加70名。 “婦人部のガン検診（子宮ガン31名・乳ガン26名）。 1月：新年交礼会・娯楽大会（マージャン・囲碁・カルタ等）の開催。 “婦人部新年交礼会を開催・41名の参加。 “役員選考委員会の発足→来期の役員選考を行う。

## 変遷

	町内会員数	町内会決算額	町内会においての記録等
平成 3 年度			<p>1月：班会合の開催（3・4・6・8班）      今年度は会員の葬儀が多く→実に6名も。      吉田川が水遊びのできる川に生まれ変わる（来年も工事）。</p>
平成 4 年度	225名	一般会計 1,579,989 円 特別会計（会館会計） 2,748,280 円	<p>4月：町内会費の値上げ→16年ぶりに100円増の400円に。      総会において4年度役員改選が不調→役員不在となる。      “ 1ヶ月を目途に問題を解決し臨時総会に→進展なし。</p> <p>5月：吉田川清掃と春の町内清掃を実施。      8月：夏まつりを実施（夏まつり実行委員会により）内容は前年と同じ。      11月：北野地区ミニバレー大会で男女チーム共に優勝の栄冠を手に入れる      →男子8チーム・女子13チームで北野台小学校で開催→朝日ヶ丘・強い。</p>
平成 5 年度	231名	一般会計 1,782,522 円 特別会計（会館会計） 3,062,850 円	<p>5月：3町内会合同の吉田川清掃と春の町内清掃を実施。      6月：同好会活動が盛んに行われる→月2回程度。      社交ダンス常時20名・囲碁10名→共に2年間継続。      7月：婦人部さくらんぼ狩り（余市町）→38名参加。      “ 婦人部・南西沖大地震に義援金を募る→7,557円を贈る。      8月：夏まつりと子供のお泊まり会を実施→150名位参加。      10月：第8回町内大運動会と懇親会を開催→130名位参加。      12月：北野地区ミニバレー大会に参加→男子優勝・女子準優勝。      1月：町内新年交礼会・娯楽大会（麻雀・囲碁・カルタ等）。      来賓でこられた「長岡市議」今期でご勇退を表明する。      1~8班まで、全部の班で「班会合」により親睦が図られる。      この班懇親会は年々充実し、全戸数の半数近くが参加。</p>
平成 6 年度	237名	一般会計 1,849,570 円 特別会計（会館会計） 3,387,412 円	<p>4月：総会で敬老祝行事を新設・会則の変更（役員行動費を新設・他）      5月：春の吉田川清掃及び町内清掃の実施。      6月：敬老祝の実施に伴い高齢者調査を行う→65歳以上115名。      70歳以上は68名・75歳以上は43名・敬老会の対象者を75歳以上とする。      8月：町内「夏まつり」を開催→150名参加。      9月：敬老祝の実施→町内居住の75歳以上の方に記念品を贈呈。      “ 町内親睦ゴルフコンペを開催→20名参加・現在も続行。      10月：第9回町内大運動会を開催→終了後に懇親会 計130名が参加。      11月：北野地区ミニバレー大会に出場→男子優勝・女子5位。      12月：子供クリスマス会を開催・30名参加。      1月：町内新年交礼会・娯楽大会（麻雀・囲碁・カルタ等）。      3月：阪神大震災義援金・会員から￥168,005円を集約。      1~8班まで、全部の班で「班会合」により親睦が図られる。</p>
平成 7 年度	240名	一般会計 1,572,327 円 特別会計（会館会計） 2,749,553 円 特別会計（除排雪） 717,000 円	<p>4月：7年度総会・市議笛出昭夫氏を町内顧問として承認。      5月：春の吉田川清掃及び町内清掃の実施。      8月：町内「夏まつり」を開催→150名参加。      9月：敬老祝の実施→三役で42名の家庭訪問で記念品を贈呈。      12月：婦人部・懇親会→35名参加、子供クリスマス会実施。      1月：新年交礼会・娯楽大会（麻雀・囲碁・カルタ等）を開催。      2月：婦人部新年交礼会開催（参加者50名）      “ 除排雪実施に向け会員にアンケート調査→圧倒的な支持。      3月：市とのパートナー制度による「町内の排雪」を実施。      「排雪パートナーシップを毎年実施」の機運が高まる。      今年も全ての班において班会合が行われた→親睦を増進。      町内会を法人化組織をし、土地・会館の登記必要性高まる。</p>

## 変遷

	町内会員数	町内会決算額	町内会においての記録等
平成8年度	243名	一般会計 1,621,117円 特別会計（会館会計） 2,781,899円 特別会計（除排雪） 804,847円	4月：8年度総会・会則を大幅に改正→法人格を取得のため (町内会を法人登記をし、法律上の権利能力を取得) 5月：春の吉田川清掃及び町内清掃の実施。 7月：女性部社会見学会（篠路清掃工場・百合ヶ原公園他） “札幌市長より当町内会に「法人格の認可」おりる。 8月：町内「夏まつり」を開催→150名参加。 9月：敬老祝の実施→75歳以上の家庭訪問で記念品を贈呈。 “第5回町内ゴルフコンペの開催→春・秋共に20名参加。 12月：交通難所・2班の坂道に念願のロードヒーティング完成。 “札幌市との「除雪パートナー制度」による申請手続き。 1月：新年交礼会・娯楽会（麻雀・囲碁・カルタ等）を開催。 “役員選考委員会が発足→来期役員選考のため数回開催。 2月：女性部新年交礼会開催（参加者48名） “町内の「除雪を実施」（3月3・4日の2日間）。 全ての班・単独で班会合が行われた→半数以上が参加。
平成9年度	244名	一般会計 1,657,799円 特別会計（会館会計） 3,481,899円 (土地利用権利金収入含む) 特別会計（除排雪） 782,142円	4月：9年度総会・新役員の選任と承認。 “「地縁団体・朝日ヶ丘町内会」法人格取得。 札幌法務局に土地と建物・法人格の登記手続き完了。 7月：吉田川公園においてラジオ体操・7/23～8/16まで。 8月：町内「夏まつり」を開催→160名参加。 9月：敬老祝の実施→75歳以上の家庭訪問で記念品を贈呈。 9月：女性部・西友前で、交通安全街頭啓発に参加（8名）。 “札幌市交通傷害共済申込み集約完了→59件、85,800円 12月：子供クリスマス会を実施。 1月：新年交礼会・娯楽会（麻雀・囲碁・カルタ等）を開催。 2月：札幌市との「除雪パートナー制度」により除雪作業行う。 “福祉推進委員の募集を行う→多くのボランティアが現れる。 今年度もふれあいを持つため班会合開催→半数以上が参加。
平成10年度	247名	[予算] 一般会計 2,256,516円 [予算] 特別会計（会館会計） 3,179,210円 [予算] 特別会計（除排雪） 739,371円	4月：福祉推進委員会を設置→17名に委嘱状を交付・勉強会。 5月：町内会結成30周年事業を行うための実行委員会を設置。 数回の委員会開催→記念誌の発行と記念祝賀会を計画。 6月：町内会館の化粧直し行う（外壁・鉄骨部を塗装、屋根の補修） 8月：町内「夏まつり」を開催→ビンゴには150名位参加。 9月：福祉推進委員会で研修会→清田親愛園・元気の里。 “敬老祝の実施→75歳以上の家庭訪問で記念品を贈呈。 班の編成替えを検討→現況平均の班員30戸を縮小する方向で来期に持越し。 第9回町内ゴルフコンペを開催→16人の参加で大盛況。 “札幌市交通傷害共済申込み集約完了→59件、85,800円。 10月：朝日ヶ丘町内会館の建設資金支払いが全て完了する。 “町内会結成・30周年記念事業を町内会館で盛大に開催 式典・祝賀会を10月24日（土）に実施、来賓として熊野連町会長ほか数人出席。 11月：全会員に、町内30周年記念事業の記念品を贈呈。 12月：全会員に、記念誌「30年のあゆみ」を贈呈。 12月：記念事業の終了に付き、実行委員会を解散。

# 朝日ヶ丘町内会・役員等の記録

昭和43年度  
昭和44年度



会長  
菅原 安信

副会長  
工藤 三郎

昭和45年度



会長  
清水 忠雄

副会長  
橋詰 孝

昭和46年度



会長  
小西 宗清

副会長  
若林 武雄

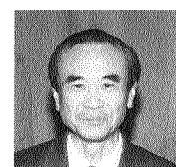
昭和47年度



会長  
小野寺徳太郎

副会長  
須藤 清人

昭和48年度



会長  
内田 和

副会長  
桜井 勝吉

昭和49年度



会長  
尾上 信雄

副会長  
同 上

奥矢 英男  
山口 登

昭和50年度

会長  
副会長  
同上

尾上 信雄  
小堀 新平  
興 武四郎

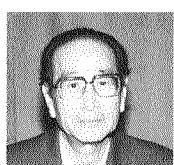
保健衛生部長  
副部長  
交通安全対策部長  
副部長  
青少年育成部長  
副部長

小西 宗清  
正保 広次  
小野寺徳太郎  
奥村 恒彦  
武藤 治  
佐藤 和雄

防災部長  
副部長  
防犯部長  
副部長  
体育部長  
副部長

若林 武雄  
渡辺 和雄  
簗内 喜男  
池田栄太郎  
須藤 清人  
近藤 正躬

昭和51年度



会長  
井島 拓男

保健衛生部長  
副部長  
交通安全対策部長  
副部長  
青少年育成部長  
副部長

小西 宗清  
正保 広次  
小野寺徳太郎  
奥村 恒彦  
佐藤 和雄  
一戸 康夫

副部長  
1班長  
2班長  
3班長  
4班長  
5班長

近藤 正躬  
清水 正博  
佐々木 弘  
佐々木武郎  
田中 敏夫  
石崎 春好

副会長  
同上  
会計  
会計監査  
同上

武藤 治  
木口 満  
赤坂 治雄  
竹内 千文  
須藤 清人

防災部長  
副部長  
防犯部長  
副部長  
体育部長

若林 武雄  
渡辺 和雄  
簗内 喜男  
池田栄太郎  
須藤 清人

6班長

中村 忠

## 役員記録

### 昭和52年度



会長 小野 春雄  
副会長 同 上  
会計 同 上  
会計監査 同 上  
総務部長

会長 小野 春雄

保健衛生部長 正保 広次  
副部長 斎藤 光義  
交通安全対策部長 中根 健  
副部長 勝井 善明  
青少年育成部長 尾藤 秀夫  
副部長 高橋 俊雄  
防災部長 先野 安雄  
副部長 鈴木 宏  
防犯部長 池田 栄守  
副部長 橋場 利雄  
体育部長 伊藤 文雄

副部長  
1班長  
2班長  
3班長  
4班長  
5班長  
6班長

石崎 春好  
中川 秀男  
末沢 次郎  
佐藤 邦雄  
高崎 林平  
渡辺 和雄  
奥矢 英男

### 昭和53年度



会長 小堀 新平  
副会長 五十嵐貞男  
同 上 中前 豊市  
会計 小関 益美  
会計監査 菅原 安信  
同 上 安西 信男  
総務部長 井原 平一

会長 小堀 新平

副部長 尾藤 秀夫  
保健衛生部長 奥村 恒彦  
副部長 佐藤 寒  
交通安全対策部長 野村 優  
副部長 高野 直之  
青少年育成部長 渡辺 勝一  
副部長 都沢 欣一  
防災部長 尾上 信雄  
副部長 伊藤 末吉  
防犯部長 尾上 信雄  
副部長 濑戸 幸  
体育部長 一戸 康夫

副部長  
婦人部長  
副部長  
1班長  
2班長  
3班長  
4班長  
5班長  
6班長

武藤 治  
小堀 夫人  
楠 夫人  
佐藤 和雄  
正保 広次  
川内 克彦  
平賀 隆  
伊藤 文雄  
楠 篤

### 昭和54年度

会長 小堀 新平  
副会長 五十嵐貞男  
同 上 中前 豊市  
会計 田中 敏夫  
会計監査 菅原 安信  
同 上 安西 信男  
総務部長 赤坂 治雄  
副部長 尾藤 秀夫  
保健衛生部長 平賀 隆  
副部長

福祉厚生部長 高野 直之  
副部長 都沢 欣一  
交通安全対策部長 都沢 欣一  
副部長 井原 平一  
青少年育成部長 尾上 信雄  
副部長 尾上 信雄  
防災部長 佐藤 和雄  
副部長 小関 益美

副部長  
婦人部長  
副部長  
1班長  
2班長  
3班長  
4班長  
5班長  
6班長

榎本 夫人  
佐々木 正喜  
佐々木 悟  
伏見 守也  
簾内 喜男  
大槌 正夫  
西尾 定

## 役員記録

### 昭和55年度



会長  
川内 克彦

副会長 森山 勇  
同上 三浦 寛治  
会計 佐藤 和雄  
会計監査 井鳥 拓男  
総務部長 中根 健  
副部長 林 進一

保健衛生部長 本間 敏男  
副部長 渡辺 和雄  
福祉厚生部長 勝井 善明  
副部長  
交通安全対策部長 西尾 定  
副部長  
青少年育成部長 田中 耕平  
副部長  
防災部長 杉本 靖知  
副部長  
防犯部長  
副部長

体育部長  
副部長  
婦人部長  
副部長  
1班長  
2班長  
3班長  
4班長  
5班長  
6班長  
7班長

高崎 林平  
木口 夫人  
橋場 利雄  
都沢 欣一  
山田 勉  
高橋 俊雄  
高野 直之  
先野 安雄  
宝福 保作

### 昭和56年度

会長 尾上 信雄  
副会長 小堀 新平  
同上 五十嵐貞男  
会計 木口 満

会計監査  
同上  
総務部長  
副部長  
交通安全対策部長

副部長  
青少年育成部長  
副部長

池田 一夫  
尾藤 秀夫

### 昭和57年度

会長 尾上 信雄  
副会長 田中 秀夫  
同上 田中 敏夫  
会計 木口 満  
会計監査 内田 和  
同上 菅原 安信  
総務部長 小関 益美  
副部長 粟倉 輝彦  
保健衛生部長 佐藤 和雄  
副部長 佐藤 実

福祉厚生部長  
副部長  
交通安全対策部長  
副部長  
青少年育成部長  
副部長  
防災部長  
副部長  
防犯部長  
副部長  
副部長  
体育部長

副部長  
婦人部長  
副部長  
1班長  
2班長  
3班長  
4班長  
5班長  
6班長  
7班長

多田 富雄  
高橋 君代  
宇佐 美律子  
杉本 靖知  
高橋 信義  
中根 健  
坂本 邦広  
西田 邦広  
箭内 昇  
飯田 洋右

### 昭和58年度

会長 小野 春雄  
副会長 中村 豪  
同上 鈴木 勝彦  
会計 奈良 義明  
会計監査 宝福 保作  
同上 太田 正美  
総務部長 長島 熟  
副部長 中村 忠  
広報部長 小関 益美  
副部長 田中 敏夫  
保健衛生部長 奥矢 英男

副部長  
福祉厚生部長  
副部長  
交通安全対策部長  
副部長  
青少年育成部長  
副部長  
防災部長  
副部長  
防犯部長  
副部長  
体育部長

副部長  
婦人部長  
副部長  
1班長  
2班長  
3班長  
4班長  
5班長  
6班長  
7班長  
8班長

亀松 恒也  
尾藤 婦人  
佐藤扶美江  
和田 喜博  
佐藤 哲郎  
浜田 政幸  
勝井 善明  
伊藤 末吉  
曾山 光  
小野 岩雄  
坂本 千秋

## 役員記録

### 昭和59年度



会長  
中川 秀夫

副会長 我妻 実  
同上 萩林 武雄  
会計 林 進一  
会計監査 宝福 保作  
同上 竹内 千文  
総務部長 野崎巳代治  
副部長 竹原 晃  
広報部長 山日 清志  
副部長 末沢 次郎

保健衛生部長 正保 広次  
副部長 宇佐美光藏  
福祉厚生部長 大石 英憲  
副部長 羽生 吉松  
交通安全対策部長 松山 匠  
副部長 谷内田 博  
青少年育成部長 鈴木 博昭  
副部長 曾山 光  
防災部長 辻 照雄  
副部長 勝井 善明  
防犯部長 池田 一夫  
副部長 鳴海 重雄  
体育部長 成田 義明  
副部長 坂爪 国子  
婦人部長

副部長  
1班長  
2班長  
3班長  
4班長  
5班長  
6班長  
7班長  
8班長

佐藤美智子  
成田 義明  
石松 義国  
本間 敏男  
井鳥 拓男  
内館哲二郎  
柴田 忠明  
谷内田 博  
菖蒲 新

### 昭和60年度



会長  
五十嵐貞男

副会長 佐々木 弘  
同上 工藤 三郎  
会計 熊谷 竹義  
同上 高橋栄次郎  
監事 宝福 保作  
同上 讀岐 昭三  
総務部長 奥矢 英男  
副部長 山日 良夫

副部長 小寺沢陽一  
保健衛生部長 岩村 達男  
副部長 種宗 英寿  
福祉厚生部長 軍司 定義  
副部長 斎藤 義仁  
交通安全対策部長 立花 晴雄  
副部長 清水 剛  
青少年育成部長 若山 一夫  
副部長 楢天 譲  
防災部長 佐藤 和雄  
副部長 佐藤 実  
防犯部長 広木 栄三  
副部長 都沢 欣一  
体育部長 杉本 久雄  
副部長 箕内 昇

婦人部長  
副部長  
1班長  
2班長  
3班長  
4班長  
5班長  
6班長  
7班長  
8班長

高橋 静子  
林 淑恵  
鳴海 重雄  
山日 清志  
坂下 宮夫  
林 進一  
三浦 寛治  
市川 弘  
杉本 久雄  
井川 二郎

### 昭和61年度



会長  
野崎巳代治

副会長 宇佐美光義  
同上 池田 一夫  
会計 飯田 洋右  
同上 小山 威哉  
監事 高橋栄次郎  
同上 宝福 保作  
総務部長 佐藤 和雄  
副部長 森山 勇  
広報部長 山川 孝行

副部長 菅原 安信  
保健衛生部長 篠内 喜男  
副部長 山平 金夫  
福祉厚生部長 菖蒲 新  
副部長 秋本 千秋  
交通安全対策部長 栗原 亮  
副部長 谷内田 博  
青少年育成部長 末松 雄二  
副部長 阿部 保夫  
防災部長 佐々木幸一  
副部長 伏見 守也  
防犯部長 伊藤 浅吉  
副部長 石崎 春好  
体育部長 一戸 康夫  
副部長 都沢 欣一

婦人部長  
副部長  
1班長  
2班長  
3班長  
4班長  
5班長  
6班長  
7班長  
8班長

野崎 嘉子  
石垣美知子  
阿部 保夫  
今城 則明  
田中 義道  
佐々木幸一  
鈴木 勝彦  
軍司 定義  
佐藤 道彦  
羽生 吉松

## 役員記録

### 昭和62年度



会長	小関 益美	副部長 保健衛生部長 副部長 福祉厚生部長 副部長 交通安全対策部長 副部長 青少年育成部長 副部長 防災部長 副部長 防犯部長 副部長 体育部長 副部長	山崎 勇 先野 安雄 田中 耕平 和田 喜博 坂野 時雄 池田 健治 林 仁志 西田 邦広 菊谷 吉正 近藤 清治 浜田 政幸 瀬川 富夫 工藤 正行 今城 則明 山日 良夫	婦人部長 副部長 1班長 2班長 3班長 4班長 5班長 6班長 7班長 8班長	田辺 一枝 長島 やす子 中村 毅 山川 孝行 宇佐 美光藏 池田 健治 若山 一夫 小堀 新平 讃岐 昭三 立花 晴雄
副会長	内館哲二郎				
同 上	富樫喜一郎				
会 計	阿部 保夫				
同 上	中川 博				
監 事	高橋栄次郎				
同 上	宝福 保作				
総務部長	勝井 善明				
副部長					
広報部長	矢島 昌美				

### 昭和63年度

会長	小関 益美	副部長 福祉厚生部長 副部長 交通安全対策部長 副部長 青少年育成部長 副部長 防災部長 副部長 防犯部長 副部長 体育部長 副部長	正保 広次 中村 穀 内田 和 中村 光則 山田 勉 今城 則明 山川 孝行 斎藤 太郎 岡山 宣之 三浦 寛治 尾藤 秀夫 鶴田 仁志 小寺沢陽一	婦人部長 副部長 1班長 2班長 3班長 4班長 5班長 6班長 7班長 8班長	伏見 和子 栗倉美津子 竹内 勉 山日 良夫 広木 栄三 山口 登 太田 正美 斎藤 義仁 栗原 亮 斎藤 勝雄
副会長	中村 弘				
同 上	立花 晴雄				
会 計	若林 武雄				
同 上	奥矢 英男				
監 事	高橋栄次郎				
同 上	宝福 保作				
総務部長	林 進一				
副部長	中村 忠				
広報部長	小山 威哉				
副部長	讃岐 昭三				
保健衛生部長	高橋 信義				

### 平成元年度

会長	小関 益美	副部長 福祉厚生部長 副部長 交通安全対策部長 副部長 青少年育成部長 副部長 防災部長 副部長 防犯部長 副部長 体育部長 副部長	正保 広次 中村 穀 内田 和 中村 光則 山田 勉 今城 則明 山川 孝行 斎藤 太郎 岡山 宣之 三浦 寛治 尾藤 秀夫 鶴田 仁志 小寺沢陽一	婦人部長 副部長 1班長 2班長 3班長 4班長 5班長 6班長 7班長 8班長	伏見 和子 栗倉美津子 板垣 義則 三谷 矩克 近藤 清治 須藤 清人 野崎 嘉子 斎藤 太郎 阿部 一三 開本 孝昭
副会長	中村 弘				
同 上	立花 晴雄				
会 計	若林 武雄				
同 上	奥矢 英男				
監 事	高橋栄次郎				
同 上	宝福 保作				
総務部長	林 進一				
副部長	中村 忠				
広報部長	小山 威哉				
副部長	讃岐 昭三				
保健衛生部長	高橋 信義				

## 役員記録

### 平成 2 年度

会長	小関 益美	福祉厚生部長	板垣 義則	2班長	榎木 実
副会長	斉藤 勝雄	副部長	辻 照雄	3班長	我妻 実
同 上	宝福 保作	生活安全部長	国分 勝	4班長	太田 義明
同 上	橋詰 孝	副部長	正保 広治	5班長	瀬川 富夫
会計	若林 武雄	青少年育成部長	林 進一	6班長	工藤 敏光
同 上	奥矢 英男	副部長	浜田 政幸	7班長	小塚 侑子
監事	高橋栄次郎	体育部長	斉藤 裕人	8班長	山崎 勇
同 上	森山 勇	副部長	斉藤 義任		
総務部長	讚岐 昭三	婦人部長	讚岐 節子		
副部長	佐藤 和雄	副部長	若山 玲子		
広報部長	伏見 守也	会館運営委員長	立花 晴雄		
副部長	古館 良文	副委員長	小野 岩雄		
		1班長	辻 照雄		

### 平成 3 年度

会長	小関 益美	福祉厚生部長	辻 照雄	2班長	中川 博
副会長	斉藤 勝雄	副部長	末松 雄二	3班長	武田 敏行
同 上	宝福 保作	生活安全部長	国分 勝	4班長	穂宗 英寿
同 上	橋詰 孝	副部長	若山 一夫	5班長	工藤 正行
会計	開本 孝昭	青少年育成部長	林 進一	6班長	赤坂 治雄
同 上	奥矢 英男	副部長	浜田 政幸	7班長	粟倉 輝彦
監事	高橋栄次郎	体育部長	斉藤 義任	8班長	滝本 詔洋
同 上	森山 勇	副部長	高橋 裕人		
総務部長	讚岐 昭三	婦人部長	奈良 容子		
副部長	佐藤 和雄	副部長	今城利恵子		
広報部長	中根 健	会館運営委員長	立花 晴雄		
副部長	伏見 守也	副委員長	小野 岩雄		
		1班長	末松 雄二		

### 平成 4 年度

会長	小関 益美	福祉厚生部長	辻 照雄	2班長	岡崎 善次
副会長	斉藤 勝雄	副部長	末松 雄二	3班長	石川 安佐
同 上	宝福 保作	生活安全部長	国分 勝	4班長	勝井 善明
同 上	橋詰 孝	副部長	若山 一夫	5班長	熊谷 竹義
会計	開本 孝昭	青少年育成部長	林 進一	6班長	亀松 洋也
同 上	奥矢 英男	副部長	浜田 政幸	7班長	石黒 煎夫
監事	高橋栄次郎	体育部長	斉藤 義任	8班長	平川 房夫
同 上	森山 勇	副部長	高橋 裕人		
総務部長	讚岐 昭三	婦人部長	奈良 容子		
副部長	佐藤 和雄	副部長	今城利恵子		
広報部長	中根 健	会館運営委員長	立花 晴雄		
副部長	伏見 守也	副委員長	小野 岩雄		
		1班長	小島 章司		

## 役員記録

### 平成 5 年度

会長	小関 益美	福祉厚生部長	熊谷マチ子	防災委員会委員長	讃岐 昭三
		副部長	奥矢 直子	副委員長	赤坂 治雄
副会長	斎藤 勝雄	生活安全部長	国分 勝	同 上	山日 清志
同 上	滝川 英則	副部長	軍司 定義	1 班長	坂野 時雄
同 上	佐藤 和雄	青少年育成部長	太田 均	2 班長	今野 廣拓
会計	田辺 幸雄	副部長	阿部 靖弘	3 班長	古屋 慶子
同 上	伏見 和子	体育部長	斎藤 幸恵	4 班長	中村 光則
監事	高橋栄次郎	副部長	小島 章司	5 班長	小野 春雄
同 上	飯田 洋右	婦人部長	竹田 幸子	6 班長	高橋 裕人
総務部長	林 進一	副部長	小島 博子	7 班長	田中 耕平
副部長	勝井 義明	会館運営委員長	立花 晴雄	8 班長	桜井 勝吉
広報部長	滝本 育見	副委員長	野崎 嘉子		
副部長	平川 静代	同 上	奥矢 直子		

### 平成 6 年度

会長	小関 益美	福祉厚生部長	奥矢 直子	防災委員会委員長	讃岐 昭三
		副部長	小島 博子	副委員長	赤坂 治雄
副会長	斎藤 勝雄	生活安全部長	国分 勝	同 上	山日 清志
同 上	滝川 英則	副部長	軍司 定義	1 班長	菅沼造酒男
同 上	佐藤 和雄	青少年育成部長	太田 均	2 班長	吉田 雅州
会計	田辺 幸雄	副部長	坂野 時雄	3 班長	榎本さと子
同 上	伏見 和子	体育部長	西田 邦広	4 班長	田村 健治
監事	高橋栄次郎	副部長	小西 洋一	5 班長	仲野 邦雄
同 上	飯田 洋右	婦人部長	坂野 愛子	6 班長	野村 歌子
総務部長	林 進一	副部長	中根 美恵	7 班長	小山 威哉
副部長	勝井 善明	会館運営委員長	立花 晴雄	8 班長	加藤 敏
広報部長	滝本 育見	副委員長	野崎 嘉子		
副部長	平川 静代	同 上	奥矢 直子		

### 平成 7 年度

会長	小関 益美	福祉厚生部長	坂野 愛子	副委員長	赤坂 治雄
		副部長	小島 博子	同 上	山日 清志
副会長	国分 勝	生活安全部長	軍司 定義	1 班長	川上 章雄
同 上	林 進一	副部長		2 班長	楠本 秀明
同 上	佐藤 和雄	青少年育成部長	太田 均	3 班長	橋詰 孝
会計	国分 勝	副部長		4 班長	鳥海 悅男
同 上	小山 久子	体育部長	小西 洋一	5 班長	森谷 茂
監事	高橋栄次郎	副部長		6 班長	井原 平一
同 上	飯田 洋右	婦人部長	森山 綾子	7 班長	先野 安雄
総務部長	林 進一	副部長	飯島喜代子	8 班長	若林 武雄
副部長	勝井 善明	会館運営委員長	奥矢 直子		
広報部長	佐藤 和雄	副委員長	野村 歌子		
副部長		防災委員会委員長	讃岐 昭三		

## 役員記録

### 平成8年度

会長	小関 益美	福祉厚生部長	坂野 愛子	副委員長	赤坂 治雄
副会長	国分 勝	副部長	高橋 夫人	同 上	山日 清志
同上	林 進一	生活安全部長	軍司 定義	1班長	木原 良尋
同上	佐藤 和雄	副部長	太田 均	2班長	野波 宏光
会計	国分 勝	青少年育成部長	高橋 裕人	3班長	北川 基也
同上	小山 久子	副部長	小西 洋一	4班長	岩村由起子
監事	高橋栄次郎	体育部長		5班長	尾藤 秀夫
同上	飯田 洋右	副部長		6班長	小西 洋一
総務部長	林 進一	婦人部長		7班長	須田 茂蔵
副部長	勝井 善明	副部長	奥矢 直子	8班長	中村 弘
広報部長	佐藤 和雄	会館運営委員長	野村 歌子		
副部長	高橋 信義	副委員長	讚岐 昭三		
		防災委員会委員長			

### 平成9年度

会長	小関 益美	福祉厚生部長	竹田 幸子	副委員長	赤坂 治雄
副会長	国分 勝	副部長	高橋 静子	同 上	山日 清志
同上	加藤 敏	生活安全部長	軍司 定義	1班長	太田 均
同上	佐藤 和雄	副部長	瀬川 富夫	2班長	青木 進
会計	国分 勝	青少年育成部長	太田 均	3班長	小野寺正勝
同上	工藤 康雄	副部長	森谷 輝子	4班長	皆川 力
監事	高橋栄次郎	体育部長	勝井 善明	5班長	工藤 康雄
同上	飯田 洋右	副部長	佐々木 悟	6班長	滝川 英吾
総務部長	佐藤 和雄	婦人部長	高橋 悅子	7班長	津嘉田 圭
副部長	亀松 洋也	副部長	太田 京子	8班長	明石 吉平
広報部長	加藤 敏	会館運営委員長	奥矢 直子		
副部長	平川 房夫	副委員長	仲野 紗子		
		防災委員会委員長	讚岐 昭三		

### 平成10年度

会長	小関 益美	生活安全部長	軍司 定義	副委員長	赤坂 典子
副会長	国分 勝	副部長	瀬川 富夫	女性部長	桜井 愛子
同上	加藤 敏	防災部長	讚岐 昭三	副部長	齊藤 幸恵
同上	佐藤 和雄	副部長	赤坂 治雄	会館運営委員長	奥矢 直子
会計	国分 勝	青少年育成部長	山日 清志	副委員長	仲野 紗子
同上	工藤 康雄	副部長	太田 均	1班長	沢崎 裕
監事	高橋栄次郎	体育部長	森谷 輝子	2班長	荒野 耕司
同上	飯田 洋右	副部長	皆川 力	3班長	柴田 耕司
総務部長	佐藤 和雄	厚生部長	高橋 静子	4班長	堀内 修
副部長	亀松 洋也	副部長	林 淑恵	5班長	阿部 靖弘
広報部長	加藤 敏	福祉推進委員長	林 進一	6班長	奥原 一茂
副部長	平川 房夫	副委員長	高橋 裕人	7班長	森田 末夫
				8班長	兼平 陸夫

# 朝日ヶ丘町内会・歴代会長等名簿

	会長	副会長		行事等の記録
昭和43年度 1968年	菅原 安信氏	工藤 三郎氏		13戸位で、町内会を結成する 当時の懸案事項：水、道路、除雪対策
昭和44年度 1969年	菅原 安信氏	工藤 三郎氏		
昭和45年度 1970年	清水 忠雄氏	橋詰 孝氏		
昭和46年度 1971年	小西 宗清氏	若林 武雄氏		
昭和47年度 1972年	小野寺徳太郎氏	須藤 清人氏		
昭和48年度 1973年	内田 和氏	桜井 勝吉氏		
昭和49年度 1974年	尾上 信雄氏	奥矢 英男氏	山口 登氏	簡易水道が「市水道」に移管する
昭和50年度 1975年	尾上 信雄氏	小堀 新平氏	興 武四郎氏	50年4月北野小学校の開校 町内の主道路が簡易舗装となる
昭和51年度 1976年	井鳥 拓男氏	武藤 治氏	木口 満氏	国道への坂道を防犯パトロールする
昭和52年度 1977年	小野 春雄氏	西尾 定氏	西田季太郎氏	北野中学校の開校
昭和53年度 1978年	小堀 新平氏	五十嵐貞男氏	中前 豊吉氏	町内に「市下水道」に入る、11月
昭和54年度 1979年	小堀 新平氏	五十嵐貞男氏	中前 豊吉氏	町内仮会館（プレハブ教室）を建設 道信金から資金借用・約170万円
昭和55年度 1980年	川内 克彦氏	森山 勇氏	三浦 寛治氏	北野通り開通、町内ソフトボール大会
昭和56年度 1981年	尾上 信雄氏	小堀 新平氏	五十嵐貞男氏	会館建設用地を三井不動産より買う
昭和57年度 1982年	尾上 信雄氏	中川 秀夫氏	田中 敏夫氏	寿会、町内を仮装行列・盆踊り賞独占
昭和58年度 1983年	小野 春雄氏	中村 穀氏	鈴木 勝彦氏	雪中運動会の開催
昭和59年度 1984年	中川 秀夫氏	若林 武雄氏	我妻 実氏	北野連絡所が開設、町内8班に編成
昭和60年度 1985年	五十嵐貞男氏	佐々木 弘氏	工藤 三郎氏	今年度から会長選考をロック制実施 4ブロックに編成・1班より開始
昭和61年度 1986年	野崎己代治氏	宇佐美光義氏	池田 一夫氏	第1回・町内大運動会を開催する
昭和62年度 1987年	小関 益美氏	内館哲二郎氏	富樫喜一郎氏	会館建設委員会で仮会館の撤去決定
昭和63年度 1988年	小関 益美氏	中村 弘氏	立花 晴雄氏	町内仮会館を撤去、(高圧電力事故) 新会館の確認申請
平成元年度 1989年	会長代行小関 益美氏			新会館の建設着手、8月落成祝賀会 三役、不在の年となる

## 歴代会長

		会長	副会長				行事等の記録
平成2年度	1990年	小閑 益美氏	斎藤 勝雄氏	宝福 保作氏	橋詰 孝氏		副会長が、3名体制となる
平成3年度	1991年	小閑 益美氏	斎藤 勝雄氏	宝福 保作氏	橋詰 孝氏		吉田川水遊びのできる川となる
平成4年度	1992年	会長代行小閑 益美氏					町連ミニバレー大会、男女共に優勝三役、不在の年となる
平成5年度	1993年	小閑 益美氏	斎藤 勝雄氏	滝川 英則氏	佐藤 和雄氏		町内・第8回大運動会を開催する。
平成6年度	1994年	小閑 益美氏	斎藤 勝雄氏	滝川 英則氏	佐藤 和雄氏		町内75歳以上の方に敬老記念品贈呈 町連ミニバレー、男子3年連続優勝
平成7年度	1995年	小閑 益美氏	国分 勝氏	林 進一氏	佐藤 和雄氏		町内の除排雪を行う・以降毎年実施
平成8年度	1996年	小閑 益美氏	国分 勝氏	林 進一氏	佐藤 和雄氏		札幌市より法人格の認可を受ける 全ての班、班会合を単独に開催した。
平成9年度	1997年	小閑 益美氏	国分 勝氏	加藤 敏氏	佐藤 和雄氏		会館・用地を法人格所有とし登記済
平成10年度	1998年	小閑 益美氏	国分 勝氏	加藤 敏氏	佐藤 和雄氏		町内会結成30周年記念行事を実施

☆町内会顧問 ①：大内 良一氏 昭和53～54年度総会にて承認される（市議会議員→現在、道議会議員）

②：笹出 昭夫氏 平成7年度総会にて承認される（市議会議員）

☆町内会館・用地取得 : 昭和56年度→三井建設で造成中の団地（吉田川左岸）に関連し、河川切替えにより発生した代替地を購入（442.550m<sup>2</sup>）

当時の町内会長は、尾上信雄氏

☆町内会館建設・落成 : 昭和63年度→新会館建設を（株）三宝工業と工事契約を締結￥2,380万円

新会館落成祝賀会を昭和63年8月28日（日）に開催

当時の町内会長は、小閑益美氏

用地・会館建設費等の支払いは平成10年10月に完了

☆町内会結成30周年 : 平成10年度→町内会館にて来賓を招き式典・祝賀会を盛大に開催

記念行事を実施 歴代町内会長に感謝状と記念品を贈呈

町内記念誌「30年のあゆみ」を編集・全会員に配付

☆当町内の住民・第1号：菅原 安信氏 →昭和39年12月29日ー電気も水も間に合わず、ローソクが唯一の明かりで正月を迎えた。

第2号：工藤 三郎氏 昭和40年→40年秋頃、電話が設置される。

☆特記事項 市水道：団地造成時の簡易水道が、昭和49年・札幌市の水道に切り替わる。

小学校：昭和50年4月・北野小学校の開校

中学校：昭和52年4月・北野中学校の開校

下水道：昭和53年11月・札幌市の下水道が完成、使用開始となる。

運動会：昭和60年10月・町内第1回運動会を行う→平成6年・第9回まで開催した。

副会長：平成2年、副会長を3人制になる→以降、現在に至る。

夏祭り：平成3年、第1回夏まつり（ビヤホール他）を開催→現在も継続。

敬老会：平成5年度、町内会より、75歳以上の老人に敬老祝いを贈る→現在も継続中。

福祉社：平成10年度、福祉推進委員会を設置・1人暮らしの老人を主としてお世話ををする。

# 朝日ヶ丘町内会会員名簿

※現在非会員

氏名	電話番号	住所	入居年月日		氏名	電話番号	住所	入居年月日
<b>第1班</b>								
奥村 恒彦	881-1720	北野4条1丁目3番12号	S41年6月		石松 義国	881-6908	北野5条1丁目9番10号	S53年8月
末松 雄二	883-7380	北野4条1丁目3番16号	S59年7月		武田 彰夫	881-7026	北野5条1丁目9番11号	S47年10月
辻 照雄	882-3881	北野4条1丁目3番18号	S59年8月		森山 勇	881-1919	北野5条1丁目9番14号	S45年7月
原田 鐘	881-1329	北野4条1丁目3番20号	S63年4月		斎藤 弘	881-1092	北野5条1丁目9番16号	S44年12月
永田 昌明	884-8939	北野4条1丁目4番7号	H9年1月		岡崎 善次	883-2563	北野5条1丁目9番18号	H58年10月
田中 潤	885-0196	北野4条1丁目4番10号	H4年8月		菅野 州芳	883-2760	北野5条1丁目9番20号	H10年3月
太田 均	881-8571	北野4条1丁目4番12号	S63年12月		青木 進	883-2888	北野5条1丁目9番22号	H3年4月
小島 章司	883-1414	北野4条1丁目4番13号	S60年8月		山日 良夫	882-3493	北野5条1丁目9番27号	S56年6月
池田 栄守	881-1884	北野4条1丁目5番8号	S45年11月		山日 清志	882-0124	北野5条1丁目9番28号	S51年7月
佐藤 実	881-7021	北野4条1丁目5番10号	S47年4月		小寺沢陽一	882-3539	北野5条1丁目9番29号	S54年4月
中村 育	882-4297	北野4条1丁目5番12号	S54年10月		吉田 雅州	881-9592	北野5条1丁目9番30号	S62年6月
佐藤 和雄	881-8554	北野4条1丁目5番13号	S49年11月		舟木 利夫	884-7263	北野5条1丁目9番31号	H8年8月
沢崎 裕	884-4478	北野4条1丁目5番14号	H2年10月		三谷 矩克	883-3575	北野5条1丁目10番4号	S57年7月
清水 正博	881-6850	北野4条1丁目5番17号	S48年10月		佐藤 秀則	885-5774	北野5条1丁目10番7号	H10年5月
成田 憲子	881-8873	北野4条1丁目5番18号	S54年7月		保田 和	885-1321	北野5条1丁目10番10号	H7年4月
鳴海 重雄	882-2892	北野4条1丁目5番19号	S54年10月		三上 スミ		北野5条1丁目10番15号	S50年6月
川上 章雄	882-6638	北野5条1丁目12番1号	S61年7月		佐々木セツ子	881-1948	北野5条1丁目10番16号	S46年6月
菅沼造酒男	883-2139	北野5条1丁目12番3号	S59年7月		太田 和義	886-2643	北野5条1丁目11番1号	S63年12月
竹内 和子	882-3512	北野5条1丁目12番6号	S55年5月		森 幸一	882-5086	北野5条1丁目11番4号	H3年3月
今野 文雄	881-1061	北野5条1丁目12番8号	S50年11月		像木 実	883-2715	北野5条1丁目11番5号	S58年8月
和田 喜博	881-7392	北野5条1丁目12番13号	S53年8月		坂爪 良夫	881-7011	北野5条1丁目11番8号	S46年10月
帶川 清	881-0780	北野5条1丁目12番14号	S42年5月		今野 廣拓	882-4477	北野5条1丁目11番10号	S63年3月
橋場 利雄	881-8679	北野5条1丁目12番15号	S50年5月		佐藤 哲郎	881-5512	北野5条1丁目11番13号	S50年7月
<b>第3班</b>								
山本 清和	883-6331	北野5条1丁目13番21号	H元年10月		都沢 鈴一	881-6865	北野4条1丁目6番1号	S48年11月
内田 和	881-6890	北野5条1丁目13番22号	S47年10月		佐々木 憲	881-6869	北野4条1丁目6番2号	S48年11月
清水 卉子	881-0485	北野5条1丁目13番24号	S43年9月		高橋 信義	881-6150	北野4条1丁目6番4号	S51年11月
佐々木正喜	882-0435	北野5条1丁目13番27号	S49年4月		本間 敏男	882-1005	北野4条1丁目6番6号	S52年11月
坂野 時雄	883-5910	北野5条1丁目13番30号	S59年9月		橋詰 孝	882-4335	北野4条1丁目6番7号	S55年10月
荒木 英男	883-1569	北野5条1丁目13番31号	H9年6月		浜田 政幸	882-2723	北野4条1丁目6番8号	S52年8月
木原 良尋	883-3491	北野5条1丁目13番33号	S62年3月		柴田 耕司	886-1605	北野4条1丁目6番12号	H5年3月
原 キヌ子	881-1521	北野5条1丁目13番34号	S46年11月		坂下 宮夫	882-4741	北野4条1丁目6番15号	S54年10月
板垣 義則	883-2354	北野5条1丁目13番37号	S58年7月		榎本 聰子	881-0227	北野4条1丁目6番16号	S41年4月
谷口 雅広	885-2144	北野5条1丁目13番38号	H4年8月		松下 彰謹	883-3359	北野4条1丁目6番17号	H10年7月
飯島 昭和		北野5条1丁目13番28号	※		石川 安佐	881-8428	北野4条1丁目6番18号	S49年11月
<b>第2班</b>								
楠本 秀明	883-6690	北野5条1丁目8番1号	H4年12月		古谷 慶子	881-8522	北野4条1丁目6番19号	S49年11月
吉川 彰	881-5879	北野5条1丁目8番21号	S50年6月		横沢 尚人	882-2150	北野4条1丁目6番20号	H8年7月
今城 則明	881-4818	北野5条1丁目8番22号	S51年4月		田中 義道	882-3736	北野5条1丁目9番1号	S54年8月
荒野 耕司	883-6439	北野5条1丁目8番23号	H1年12月		北川 基也	882-7167	北野5条1丁目9番2号	H3年11月
山川 孝行	881-5532	北野5条1丁目8番24号	S56年5月		近藤 清治	883-2768	北野5条1丁目9番3号	S58年3月
					広木 栄三	882-5975	北野5条1丁目9番7号	H55年7月

## 会員名簿

氏名	電話番号	住所	入居年月日	氏名	電話番号	住所	入居年月日
小野寺正勝	883-1625	北野5条1丁目9番59号	H7年12月	加賀一郎	881-1063	北野3条1丁目3番10号	S43年11月
我妻トミエ	882-0438	北野5条1丁目9番60号	S51年10月	大窪有一	882-7487	北野3条1丁目3番11号	H4年月
一戸康夫	881-8575	北野5条1丁目9番63号	S49年12月	山木政雄	884-0636	北野3条1丁目3番14号	H9年3月
宇佐美光蔵	881-8839	北野5条1丁目9番66号	S53年8月	川本英一郎	883-8631	北野3条1丁目3番15号	S60年8月
第4班				斎藤弘行	882-8341	北野3条1丁目3番16号	H9年10月
太田博仁	884-7058	北野4条1丁目7番1号	H10年9月	三浦寛治	882-1469	北野3条1丁目3番18号	S52年12月
金沢史郎	883-9402	北野4条1丁目7番2号	H6年11月	簾内喜男	881-7805	北野3条1丁目3番20号	S48年6月
太田義明	883-1459	北野4条1丁目7番4号	S58年4月	山平金夫	881-7768	北野3条1丁目3番22号	S46年5月
星野和利	882-3701	北野4条1丁目7番6号	S53年4月	工藤康雄	882-6696	北野3条1丁目4番5号	S62年1月
古館良文	882-8073	北野4条1丁目7番7号	S62年12月	村田ヒサ子	881-8944	北野3条1丁目4番7号	S50年2月
穂宗英寿	882-2998	北野4条1丁目7番8号	S56年8月	小野寺ひな子	881-1717	北野3条1丁目4番12号	S45年12月
中村光則	881-1103	北野4条1丁目7番9号	S54年5月	鈴木勝彦	882-5006	北野3条1丁目4番13号	S56年4月
岩村由紀子	882-5926	北野4条1丁目7番10号	S57年4月	太田正美	881-6518	北野3条1丁目4番14号	S55年11月
林進一	881-6005	北野4条1丁目7番11号	S50年8月	若山一夫	881-9164	北野3条1丁目4番17号	S55年8月
須藤清人	881-0168	北野4条1丁目7番16号	S46年7月	国分勝	883-2246	北野3条1丁目4番18号	S62年10月
川村輝雄	885-3168	北野4条1丁目7番17号	H7年8月	高崎林平	881-6870	北野3条1丁目4番19号	S49年3月
山田勉	881-6883	北野4条1丁目7番22号	S50年12月	田中敏夫	881-3197	北野3条1丁目4番20号	S47年12月
中根健	881-8283	北野4条1丁目8番1号	S49年12月	木村勝義	882-7730	北野3条1丁目4番22号	S62年11月
井鳥拓男	881-7854	北野4条1丁目8番2号	S49年12月	尾上潤吉	881-3491	北野4条1丁目1番7号	S47年7月
五十嵐貞男	882-1711	北野4条1丁目8番6号	S52年4月	小野春雄	881-3337	北野4条1丁目1番9号	S47年9月
皆川力	884-9698	北野4条1丁目8番7号	H3年3月	尾藤秀夫	884-6851	北野4条1丁目1番11号	S50年10月
伏見守也	882-0207	北野4条1丁目8番9号	S52年1月	仲野邦雄	883-6243	北野4条1丁目1番12号	H4年4月
池田定治	885-5741	北野4条1丁目8番8号	H7年6月	佐藤明治	885-5375	北野4条1丁目1番15号	H9年4月
興武四郎	881-0228	北野4条1丁目8番10号	S42年7月	加藤一男	882-3974	北野4条1丁目1番16号	H9年4月
佐藤純子	881-8097	北野4条1丁目8番14号	H3年4月	森谷茂	883-3571	北野4条1丁目2番7号	H2年8月
山崎誠治	883-6633	北野4条1丁目8番14号	H9年5月	野崎嘉子	882-0846	北野4条1丁目2番9号	S51年10月
佐藤高広	882-7604	北野4条1丁目8番14号	H1年6月	瀬川富夫	882-1325	北野4条1丁目2番10号	S52年6月
貝沢由美子	883-7495	北野4条1丁目8番14号	H6年10月	工藤潤司	882-2718	北野4条1丁目2番11号	S52年10月
佐藤邦夫	881-2841	北野4条1丁目8番15号	S41年7月	熊谷マツ子	882-5802	北野4条1丁目2番15号	S54年5月
堀内修	884-6986	北野4条1丁目8番15号	H9年3月	佐藤雄二		北野4条1丁目4番23号	※
武藤治	881-3436	北野4条1丁目8番17号	S47年9月	第6班			
池田一夫	881-1573	北野4条1丁目8番19号	S42年5月	斎藤義仁	882-5961	北野4条1丁目9番1号	S55年
勝井富恵	883-4620	北野4条1丁目8番21号	H5年4月	高橋キミ	881-6037	北野4条1丁目9番2号	S56年10月
野田晋也	885-4752	北野4条1丁目8番26号	H5年6月	井原平一	881-7104	北野4条1丁目9番3号	S50年10月
三浦努	886-4220	北野4条1丁目8番26号	H10年2月	小西洋一	882-1966	北野4条1丁目9番7号	S45年11月
河井大輔	885-4820	北野4条1丁目8番26号	H5年5月	奥原一茂	882-0158	北野4条1丁目9番8号	H8年11月
小林信吾	884-0876	北野4条1丁目8番26号	H10年6月	滝川英吾	883-8301	北野4条1丁目9番9号	H元年月
田村健治	881-5579	北野4条1丁目8番27号	S51年11月	田辺幸雄	882-0416	北野4条1丁目9番10号	S51年12月
鳥海悦男	883-6190	北野4条1丁目8番28号	S59年12月	富樫喜一郎	881-2565	北野4条1丁目9番11号	S50年5月
佐々木幸一	881-7008	北野4条1丁目8番34号	S45年3月	高橋栄次郎	881-6530	北野4条1丁目9番14号	S55年12月
青山幸正	882-3828	北野4条1丁目8番35号	H3年10月	近藤正躬	881-7022	北野4条1丁目9番15号	H7年5月
第5班				川原光輝	882-1762	北野4条1丁目9番16号	S56年8月
瀬戸幸	881-4839	北野3条1丁目3番6号	S49年7月	伊藤均	885-3926	北野4条1丁目9番18号	H5年7月
佐藤英樹	882-4629	北野3条1丁目3番7号	H7年2月	奈良義明	882-1787	北野4条1丁目9番20号	S53年12月
松井康広	881-4695	北野3条1丁目3番8号	S49年5月	渡辺和男	881-7532	北野4条1丁目9番24号	S49年3月

会員名簿

氏名	電話番号	住所	入居年月日	氏名	電話番号	住所	入居年月日	
野呂田 篤	885-2664	北野4条1丁目9番25号	H5年9月	竹内 千文	881-1526	北野3条1丁目6番8号	S42年5月	
八代 久松	882-7422	北野4条1丁目9番26号	S62年8月	石黒 純	881-0251	北野3条1丁目6番11号	S44年5月	
西田 邦弘	881-7588	北野4条1丁目9番27号	S50年10月	寒川 隆幸	883-5915	北野3条1丁目6番15号	H10年3月	
柴田 忠明	882-0493	北野4条1丁目9番28号	S51年9月	田中 耕平	882-2337	北野3条1丁目6番18号	S52年2月	
平柳 証	884-0788	北野4条1丁目9番31号	H7年3月	小山 威哉	881-9962	北野3条1丁目6番20号	S60年12月	
小堀 新平	881-7034	北野4条1丁目9番34号	S48年6月	先野 安雄	882-0304	北野3条1丁目6番21号	S51年8月	
亀松 洋也	882-1739	北野4条1丁目10番1号	S46年4月	須田 茂藏	881-4723	北野3条1丁目6番22号	S50年6月	
野村 歌子	881-0196	北野4条1丁目10番6号	S50年9月	第8班				
工藤 功	883-0887	北野4条1丁目10番8号	H10年11月	滝本 詔洋	881-7478	北野3条1丁目1番30号	S57年12月	
山崎 利一	882-6431	北野4条1丁目10番10号	H9年12月	吉田 信夫	884-7204	北野3条1丁目1番31号	H2年3月	
吉田 肇	882-7677	北野4条1丁目10番10号	S63年3月	兼平 瞳夫	884-6323	北野3条1丁目1番33号	H13年12月	
曾山 光	882-5736	北野4条1丁目10番11号	S55年5月	楠 博友	885-5096	北野3条1丁目1番37号	H47年9月	
小田 邦彦	885-7522	北野4条1丁目10番12号	H8年3月	楠 篤	881-6889	北野3条1丁目1番38号	H6年月	
高野 直之	881-7812	北野4条1丁目10番14号	S49年8月	芳岡 满	884-6639	北野3条1丁目1番38号	H2年11月	
藏本 正樹	885-3699	北野4条1丁目10番15号	H5年8月	明石 吉平	882-4565	北野3条1丁目1番39号	S61年1月	
伊藤 浅吉	881-7438	北野4条1丁目10番17号	S51年12月	山崎 勇	883-2063	北野3条1丁目1番40号	S57年3月	
大槌 正夫	882-2534	北野4条1丁目10番18号	S51年11月	氏家 敬之	885-3421	北野3条1丁目1番41号	H9年8月	
斎藤 太郎	881-7560	北野4条1丁目10番21号	S58年3月	佐藤 潤司	882-2093	北野3条1丁目1番41号	H9年4月	
工藤 敏光	883-6572	北野4条1丁目10番23号	S57年8月	塙越 俊介	882-0630	北野3条1丁目1番43号	S51年5月	
片平 博	885-3298	北野4条1丁目10番25号	H5年2月	関谷 哲雄	883-1177	北野3条1丁目1番44号	S60年6月	
高木 正克	886-0636	北野4条1丁目10番26号	H5年10月	帆足 正利	885-1312	北野3条1丁目1番45号	H3年6月	
菅生 肇	885-7218	北野4条1丁目10番28号	H7年5月	立花 晴雄	883-2565	北野3条1丁目2番12号	S58年8月	
赤坂 治雄	881-4587	北野4条1丁目10番30号	S50年9月	清水 剛	882-1339	北野3条1丁目2番16号	H9年9月	
坂本泰子		北野4条1丁目9番12号	※	中村 弘	881-7740	北野3条1丁目2番19号	S50年3月	
第7班				奥矢 英男	881-4669	北野3条1丁目7番1号	S48年6月	
杉本 久雄	881-5307	北野3条1丁目5番2号	S53年10月	桜井 康矩	881-7321	北野3条1丁目7番2号	S48年7月	
多田 富雄	881-7735	北野3条1丁目5番3号		斎藤 勝雄	883-0122	北野3条1丁目7番5号	S61年7月	
高橋 修一	885-5910	北野3条1丁目5番5号	H9年10月	菖蒲 新	882-4447	北野3条1丁目7番6号	S54年3月	
讃岐 昭三	881-1664	北野3条1丁目5番6号	S55年11月	高橋多華夫	886-2837	北野3条1丁目7番7号	H8年7月	
栗原 亮	882-4465	北野3条1丁目5番8号	S54年7月	坂本 千秋	882-4083	北野3条1丁目7番8号	S53年9月	
村井 猛	884-5648	北野3条1丁目5番11号	H1年12月	飯田 洋右	882-2954	北野3条1丁目7番12号	S58年6月	
阿部 一三	882-3406	北野3条1丁目5番12号	S62年3月	筑紫伊三郎	881-1520	北野3条1丁目7番15号	S46年11月	
脇村 正人	882-3979	北野3条1丁目5番13号	H9年6月	中村 忠	881-1591	北野3条1丁目7番16号		
川田 康夫	882-7209	北野3条1丁目5番15号	H9年3月	開本 孝昭	881-9525	北野3条1丁目7番18号	S61年3月	
栗倉 輝彦	881-0759	北野3条1丁目5番17号	S50年10月	井川 幸子	881-1255	北野3条1丁目8番1号	S65年10月	
石川たみ子	882-4609	北野3条1丁目5番19号	S54年9月	加藤 敏	884-5283	北野3条1丁目8番2号	H1年10月	
筒内 昇	882-3303	北野3条1丁目5番20号	S53年12月	桜井 勝吉	881-3042	北野3条1丁目8番4号	S47年11月	
佐藤 退介	883-6483	北野3条1丁目5番21号	S58年10月	若林 武雄	881-3689	北野3条1丁目8番7号	S41年10月	
福岡 忠男	885-7033	北野3条1丁目5番22号	H6年5月	小関 益美	883-2713	北野3条1丁目8番8号	S51年11月	
石垣 隆宏	881-9988	北野3条1丁目5番23号	S60年12月	宝福 保作	881-7807	北野3条1丁目8番10号	S52年2月	
長島 純	881-7496	北野3条1丁目5番24号	S53年7月	羽生 吉松	882-6147	北野3条1丁目8番11号	S65年8月	
津嘉田 潔	881-0150	北野3条1丁目6番1号	S55年10月	平川 房夫	881-9080	北野3条1丁目8番12号	S58年8月	
森田 末夫	884-8508	北野3条1丁目6番2号	H5年9月					
木口 満	881-4793	北野3条1丁目6番4号	S50年7月					
高橋 博	886-0688	北野3条1丁目6番7号	S51年10月					

## 編集後記

この度、町内会30周年記念式典や記念誌の編集のお手伝いをさせて頂く機会を得ました。これまで町内会の発展に尽くされてきた皆さんには、心から敬意を表しますと共に、今後の益々の発展をご祈念申し上げます。(A氏)

本誌の発行に際し、ご多忙のところご寄稿、写真提供を頂いた方々には心より感謝致します。編集に当たっては、限られた予算の中で、多くの埋もれた、記念すべき掲載内容もあったと思いますが、しぶらざるを得ませんでした。とりあえず要点をまとめた朝日ヶ丘町内会の足跡「あゆみ」ができました。どうぞ折にふれ御覧頂ければ幸いと存じます。(B氏)

資料整理しながら脳裏をかすめたことの一つ。昭和60年、町内少女ソフトボールの監督として、北野町連少年・少女球技大会に出場しました。11チーム中ユニホームなしはわがチームのみ。町内の皆さんに寄付を依頼し、5万円の淨財で新調。真新しいユニホームを着用した12人の子供達の大喜びの姿は、今でも忘れることができません。(C氏)

どこの町内にもひけを取らない実に立派な記念誌が完成しました。これは朝日ヶ丘町内会員全体の誇りであり、後世に残す貴重な「町内史」です。わが町内会で実践している「隣人を知り合おう」の班会合でもぜひ活用して下さい。(D氏)

町内会史は「地域の時代」を迎える私たちの最も身近な生活の場のあゆみ。不況・失業と暗い昨今ですが、この生活の場を、より明るく一層豊かにしていきたい。そんな思いで編集にかかりさせてもらいました。最後に会員の皆さんへ、「あゆみ取扱注意事項」として、

- ①この町内に住んでいる間は、資源ゴミとして「ポイ」と捨てないこと
  - ②一家の誰かが責任を持って子供初め家族全員に少なくとも発行されたことや若干の内容紹介を行うこと
  - ③あまり奥にしまいこまないこと
- 以上3点をよろしく。(E氏)

この記念誌が発行された後、多くの会員の皆様に、わが町内にも歴史的な事柄が非常に多かった事などを知っていただき、そしてさらなる発展のためのご支援ご協力を賜りたいことをお願いするとともに、この記念誌が、町内活動の絆として次世代に繋げて行ける一助になることを、期待しています。(F氏)

1998年12月24日

発 行 朝日ヶ丘町内会記念誌編集委員会  
札幌市清田区北野3条1丁目8番8号  
印刷所 株式会社 クルーズ  
札幌市中央区北4条西12丁目1-55  
ぼくろうビル1F

# 朝日ヶ丘町内会案内図

平成10年12月1日現在

